



NK/NAPAの最適運航支援システム、エバーグリーン の船隊に導入

エバーグリーン の船隊に導入

NK/NAPAの最適運航支援システム

日本海事協会(NK)は13日、船舶の設計・運航支援ソフトウェア会社NAPA社と共同開発した最適運航支援システム「ClassNK-NAPA GREEN」が、エバーグリーンラインの船隊に導入されることが決まったと発表した。

システムの導入により、運航船舶のデータを陸上からリアルタイムで監視、記録、分析することが可能となる。

ClassNK-NAPA GREENの自己学習機能「Dynamic Performance Model」は、推計値と実際の計測値との一致率が99.6%という高い精度での船舶のパフォーマンス分析機能を提供。これにより正確なベンチマーキングやKPI(重要業績評価指標)の算出を実現する。また、実船検証でトリム最適化や船速・航路調整機能による高い燃費改善効果が確認されている。

NKとNAPAは船社の船舶運航の効率化や、正確で透明性の高い運航データ把握のニーズを受け、最適運航支援システムである「ClassNK-NAPA GREEN」を今後も提供していく。

 [記事一覧に戻る](#)

 [この記事印刷する](#)